



どうする安保～日米同盟とわたしたちの未来は

医療生協9条の会が第6回総会と学習交流開く

2006年1月に結成された医療生協九条の会の第6回総会が2011年2月19日(土)和歌山生協病院5階会議室にて開催され23名の組合員、役職員が参加しました。山本理事長の挨拶の後、DVD『どうする安保～日米同盟とわたしたちの未来』の視聴学習をおこないました。

2010年活動報告が田畑専務理事よりありました。その中で雑誌『通販生活』誌がとりにくんだアンケートで「日米安保条約はそろそろ解消」の回答が過半数を超えている、「武力を使わない安全保障をのぞむ」に4割以上の読者が賛成していることを紹介しました。これらはこの間の沖縄米軍基地移転を求めた沖縄県民の強い意志が全国的に反映されていると考えられます。参加者数が減ってきている住民過半数署名行動の参加を増やすこと、学習したことを大々的に宣伝し、引き続き事業所単位で九条の会設立を目指すことが確認

されました。

意見交流では、職員から昨年夏とりくまれたピースキャンプ、辺野古移設反対住民支援行動参加報告会、原水禁世界大会参加者交流会の様子が報告されました。また、独自でとりにくんでいる9条や米軍基地問題に対する青年職員意識調査では、9条のなかみをよく知らない人や選挙の投票に際して日本の平和問題について考えていなかったなどの回答があったことが報告されもっと広く知らせていきたいと決意が述べられました。河北東支部からは戦争体験者から次世代にどう引き継いでいくか、組織態勢や平和問題を持続的にどうとりくむか発言がありました。四ヶ郷支部の方からは「9条とくらし」「9条と医療」などについて軍事費とからめて社会保障費が削減されていることなど日常的な論議が必要との発言がありました。また小倉支部からは安保問題をもっと身近な問題に、那賀支部からは那賀9条の会含め署名行動など戻すばみにならないよう活動強化が必要など発言がありました。



2月組織・組合員活動推進本部会議

2/22(火)2月度の推進本部会議を行いました。討議事項では、2/9に開催した、班長・班交流集会についてまとめの討議を行ないました。感想文等で、概ね交流会の中身は「よかった」との評価をいただきましたが、パネルディスカッションの事前準備、分散会会場の問題、分散会の時間が少なく十分な討論ができなかったなどの意見が出されました。班長さん、班活動の交流は、それぞれの発言などで、新たな発見もあって、今後も定期的に開催してほしいとの意見もありました。

年度末に向けた4課題の取り組みについては、地区・支部で残目標を明確にして、残り1ヶ月のとりにくみを強めることを確認しました。ウエルカムパーティの取り組みも3地区で具体化されています。

2011年の活動方針として以下の3点を確認

- ① 県民の会や和歌山市9条センターの呼びかけに応じて、9条を守る住民過半数署名運動を推進します。核廃絶をめざす国際署名運動にも参加します。
- ② 学習・宣伝活動を進めます。領土問題の関わりで軍事増強の世論づくりがされています。憲法9条を持つ日本の平和・外交力こそ重要です。「支部」や「事業所」を単位に、医療生協の組合員・職員を対象とした憲法学習・宣伝活動とともに、9条を守る他団体の学習企画なども積極的に紹介し、参加していきます。
- ③ 「支部」や「事業所(職場)」を単位とした「九条の会」づくり、地域や他の「九条の会」との交流・共同のとりにくみを進めます。青年職員の平和運動と連携・共同したとりにくみを相談します。

医療生協の通信教育提出が切り迫っています。

未提出の方は急いで、2/28の消印があれば有効です。

2010年度仲間ふやし状況

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
4/1～12/31	500	304	196	100	16	84	100	57	43	100	51	49	100	46	54	70	54	16	30	31	0	1000	559	441
1/1～31現在		18	178		2	82		2	41		8	41		3	51		1	15		1	0		35	406
2/1～18現在		22	156		0	82		9	32		3	38		3	48		2	13		1	0		40	366
計		344	156		18	82		68	32		62	38		52	48		57	13		33	0		634	366